



朝顔TOPICS

●YPPからのお知らせ ニュースレター発行にあたって

YPPの創業地であった台東区入谷は「朝顔まつり(朝顔市)」が有名です。このことにちなんでニュースレターの名称を「朝顔TOPICS」と名づけました。朝顔は育てた人が多く、身近で親しみやすい花として知られ、開花の美しさはさることながら、双葉やつるがのびていく様を眺めるのが楽しい植物です。YPPも、朝顔のように、みなさまに親しまれながら、つるを伸ばしてたくさん花を咲かせていきたいです。

INDEX

▶▶▶ **TOPIC 1** スッキリ・ラボ 小松易の人生が豊かになる！片付け
「片付けの極意」第13回目
物を捨てる基準がわかりません！

スッキリ・ラボ 小松 易

▶▶▶ **TOPIC 2**
数字を愛するかのごとく大事にして、活用する

東京メトロポリタン税理士法人 北岡 修一

● YPPのお客様紹介コーナー

ピュアフーズ株式会社

● 編集後記

「片付けの極意」第13回目

物を捨てる基準がわかりません！

こんにちは。かたづけ士の小松易です。
今回は捨てる基準がわからない！という方のお悩みです。

Q お悩み Mさん

せっかく片づけを始めても、「まだ使えるかも」と思ってしまい
ついとっておいてしまうんです。
一通り片づけたのに、物が全然減らない結果に我ながらガッカリ……。
自分の中に、捨てる基準を作るには、どうしたらいいでしょう？



A 回答

Mさんはきちんと捨てる基準をお持ちなので、安心してください。Mさんがいつもテキパキと片づけをやっている場所を思い出してみましょう。

誰の家にもある場所……そう、冷蔵庫です！
食べ物には、賞味期限が書かれているので、過ぎたら捨てる。もしくは急いで食べ切る。実に単純明快ですよ。

仮に、賞味期限のないものでも、ニオイをくぐくと嗅いでみたり一口食べてみたりして、すぐに判断できるのではないのでしょうか。

“使用期間が明確である”というところが、ポイントですよ！この「賞味期限」が、物にもある！と考えてみましょう。

雑誌なら「読むと新しい情報が入ってくる」、洋服なら「着るとモチベーションがあがる」という状態なら、その“物”を美味しく味わえているということになりますよね。

逆に、もう頭に入ってしまった情報、インターネットで手に入る情報しか載っていない雑誌は、すでに賞味期限が切れています。

着ても、モチベーションがあがらないどころか、減多に手に取ることが減ってしまった洋服や靴なども同じ。

賞味期限が切れてしまった、つまり十分に味わったんだ、と思うことで、手放す勇氣にもなるのではないのでしょうか？

Mさん、まずは「本」「服」「文具」などのジャンルごとに、自分なりの「いつまでが使いどき！」という期限を書き出してみればいかがでしょう。

しっかり仕分けをすれば、身の回りには、いわゆる“匂”の物だけが残ります。シンプルで豊かな暮らしに、近づけるはずですよ。



日本初の「かたづけ士」
『かたづけを通じて人生を変えるコンサルティング』
スッキリ・ラボ 代表

小松 易 こまつ やすし

大学在学中にアイルランドへ留学し、トランク1つで生活できたことに衝撃を受けて帰国。物を持たない自由と幸せを実感し、自然とかたづけに意識が向くようになる。大学卒業後は建設会社に入社し、現場でかたづけの重要性を学ぶ。その経験から、プライベートで知人にかたづけを教え、かたづけのさらなる可能性を実感する。

2005年9月に「スッキリ・ラボ」を開業。経営者向けコンサルティング、企業研修、講演などを通して、これまで延べ2500人以上に指導する。著書はシリーズ累計44万部『たった1分で人生が変わる片づけの習慣』（中経出版）ほか多数。テレビ出演に『ガイアの夜明け』（テレビ東京）、『めざせ！会社の星』（NHK）など。また、日本商工会議所発行の「石垣」にて「片づけマジック」シリーズが2年間にわたり連載され、好評を得た。かたづけとは、かたをつけること。自分とモノとの関係を終らせて捨てること。信条は「かたづけによって本当にやりたいことが見え、いきいきと楽しい人生が送れる」。志は「かたづけを通して世界を変えること」。

経営者必見！「ビジネス×片づけ」の事例満載！

自分と会社本来の力を取り戻す「かたづけメルマガ」

<http://03auto.biz/clk/archives/yqhupz.html>

★YPP五味渕のおすすめポイント！

日本人初「かたづけ士」という職業を世に生み出し、今やメディアでも活躍の小松易さん。小松さんが以前コンサルに入った会社で「社員全員の探し物の時間を足してみたら、一人分の人件費に相当した」という笑えない話があります。いつか……と思っていた方は、今日から！まず小松さんのメルマガ購読をおススメします。

数字を愛するかのごとく大事にして、活用する

会社の財務内容を良くしていく、いや、会社そのものを良くしていくためには、**経営者が数字をじっくり見ていることが大事です。**

月次に試算表が出れば、まずは、その数字をじっくり見ます。貸借対照表(B/S)、損益計算書(P/L)がその基本となります。これで全体像をつかみます。

P/Lで今月の実績はどうだったのか、通期の実績はどうだったのかを見て、B/Sでは現在の財務状態はどうか、今後の資金繰りは大丈夫なのか、などを見ていきます。

1つ1つの科目を見ていくことによって、なぜ、こんな数字になっているのだろう、と考えます。

今月はこういうことがあったからな、とわかることもありますし、どう考えてもこの数字はおかしいな、と思うこともあります。

また、この数字ではいかな、何とかしていかないといけないなと思いを巡らしたり、なぜこんなことをしたのかと担当者の顔が思い浮かんできたりします。**B/SやP/Lは、会社の1カ月間あるいは今期のできごとを、様々映し出してくれるものなのです。**

不明なところは、経理や担当部署などにどんどん聞くことです。経営者が経営の観点から見る見方というのは必然的に違う目線になってきますので、**どんどん質問を投げることは、彼ら彼女らにはもの凄く勉強になるものです。**質問することによって、処理の間違いが発見されることも多いものです。経営者は真剣に経営に向かっていきますので、間違った処理があると、敏感に気が付くものです。これは経理の技術とは関係なくわかるものです。

さて、全体のB/SやP/Lだけを見ていても、全体の傾向はわかりませんが、その詳細を把握することはできません。そこで、今月や今期のB/S、P/Lを加工した様々な経営判断のための資料が必要になってきます。

たとえば、**B/SやP/Lを部門別に表す資料であったり、実績と計画を対比した資料**などです。全体の損益がわかって、それがどの部門からいくら発生してきているのかわからないと、今後の手の打ちようがありません。足を引っ張っている部門があるのなら、早急に対処しなければなりません。

また、単月の資料だけでなく、**P/Lなどは月次の推移で見た方が、様子がよりの確にわかります。**部門別に推移で見ていくことも必要でしょう。そのような推移表も必要になってきます。

さらに、**前期との比較**ではどうなっているのか？例えば、人員や店舗数などが増えていけば、それに応じて売上や利益も増えているのかどうか、などもよく見ておきたいところです。その意味では、**既存店だけのP/L**などの資料も欲しいところです。

B/Sにおいては、**現在の資産・負債の明細なども毎月把握**しておきたいところです。その中で不良資産などの異常なものがあれば、それをピックアップして早急に手を打たなければいけません。毎月、チェックに必要な最低限の科目明細も出しておく必要があるでしょう。

様々な分析比率の一覧表などを出しているケースもありますが、あれはどうですかね？比率だけが一覧になっていても、数字の羅列でピンと来ないし、見にくいのではないのでしょうか。比率は最低限にして、**B/SやP/Lに組み込んでおけばよい**と思います。

このように経営者が毎月、あるいは毎週、場合によっては毎日、経営に関する数字を見ることは非常に大切なことです。**そこから想像が働いて、新たな発想に結びついていき、経営が改革されていくのです。**そのためにも、もちろん数字だけではなく、現場や社員の動きなども把握していることが前提です。

今日私が強調したいのは、**経営者は数字を愛するかの如く、じっくり見る、想像する(考える)、そして考えた結果を下に伝えていく、**このようなことをして欲しい、ということです。数字は過去のもの、今さら見てもしょうがない、という経営者が結構多いものです。これにはがっかりします。私は決してそうは思いません。**今までやってきた経営判断や行動が、数字で表されているというの、大変貴重な情報だ**と思うのです。

是非、愛を持ってこの情報を大事に見て、経営に活かしてあげて欲しいですね。

ポイント！

★ 経営者は数字をじっくり見て想像し、新たな発想で経営を改革しよう。



東京メトロポリタン税理士法人 北岡 修一 税理士

1957年生まれ。東京メトロポリタン税理士法人 統括代表社員
 ティーエム・コンサルティング株式会社 代表取締役(経営コンサルティング)
 株式会社クイック経理 代表取締役(経理アウトソーシング)
 (LLC)東京メトロポリタン・ビジネス倶楽部 代表社員(異業種交流会)
 著書「こなでできる「儲かる会計」(日本能率協会MS・2006年)など。定期購読雑誌「経理ウーマン」(研修出版)編集顧問、まぐまぐ殿堂入りメルマガ「実践！社長の財務」を週刊で4年以上配信。また、盛和塾で「会計講座」の講師を務める。
 著書『社長の「闘う財務」ノート～社長の数字力が会社を鍛える』

問い合わせ先 東京メトロポリタン税理士法人 Kitaoka@tmcg.co.jp

★YPP五味渕のおすすめポイント！

ご自身の会社で異業種交流会に加え、母校の立教大学SB会事務局に、盛和塾会計講座の講師、月刊経理ウーマン監修など、八面六臂でご活躍の北岡先生。そして週1のメルマガ、ニュースレター執筆など一体何人分の仕事をこなしているかわからないほどのお忙しいなのに、訪問時には余裕の笑顔で対応くださり、ひとつひとつの問題に丁寧にお応えくださいます。とても尊敬する経営者の先輩です。「会計」からお客様を強く支えていく、という大志にYPPも強く共感です！

YPPのお客様紹介コーナー

お水のことなら、ピュアフーズにご相談ください。

ただいま、お薦めなのは、ウルトラピュアウォーターです。
 デリケートな赤ちゃんからお年寄りまでが安心して飲めるお水をお届けしています。
 食材の成分をこわさないお水で毎日の健康・体質改善に役立ちたいと考えています。



今職場でお使いのお水より、コストダウンしたい方には無料でお見積りをしております。
 また、ミネラルウォーター：カインダブルー（軟水／全国名水百選に選ばれている
 立山連峰の雪解水）の5ガロンボトルも取扱いございます。
 ご興味ある方はどうぞお気軽にお問い合わせください。



フリーダイヤル 0120-80-4788

営業時間 午前9時～午後6時土・日・祝日定休
 担当：日笠（ひかさ） 携帯：090-8337-9965

**無料トライアル
 実施中！**



ピュアフーズ株式会社

〒107-0052
 東京都港区 南青山1-11-30-101（銀座線/半蔵門線青山1丁目より徒歩5分）
 TEL：03-3402-4788 FAX：03-3402-4789

編集後記

早いもので、6月ですね。
 いつもこの季節になると、鎌倉の紫陽花寺に行きたくになります。
 紫陽花やアヤメが綺麗な季節ですね。

6月は祝日がないので、総務経理系には比較的仕事がやりやすい月です。
 (株主総会がある会社はいつもと違うテンションでお祭りのような一カ月になりますが)

楽しい夏休みもすぐそこですし、比較的時間のある月に手の付いてなかったところも含め進めておきたい月ですね。

雨の日や蒸し暑い日が増えますが、皆さまご体調崩さないよう夏に向けどうぞお健やかに過ごしてください。

追伸

6月は話題のマイナンバー制度について勉強会を行います。(6/11(木)18時～ 参加費2,000円)

職場の対応が必要な方はぜひご一緒しませんか。

詳しくは、YPP事務カフェプロジェクト 受付までご連絡下さい。

ypp@omakase-ypp.jp

おまかせ事務代行YPP

五味渕のり子

